

2021年3月29日

各位

株式会社北洋銀行

## 2021年度「ほっく一基金」助成先を決定しました 北海道の生物多様性保全に取り組む16団体へ総額700万円を助成します

北洋銀行は、北海道の生物多様性保全に取り組まれている16団体を、2021年度「ほっく一基金北海道生物多様性保全助成制度(以下、ほっく一基金)」助成先として決定しました。

ほっく一基金は、北海道における生物多様性保全のため、希少種保護や生息環境の整備等に取り組む様々な団体へ寄付金をお送りするものです。2021年度は「ほっく一コース(助成金額上限100万円)」に12件、「トムコース(助成金額固定10万円)」に9件の応募があり、ほっく一基金選定協議会\*による厳正な協議の結果、下記16団体へ総額700万円の活動資金を助成することを決定しました。これにより、ほっく一基金による寄付は7,390万円(延べ123先)となります。

当行は今後も「北洋銀行SDGs宣言」に基づき持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境に配慮した商品や金融サービスを提供するほか、CSR活動を通じて環境保全に取り組むお客さまを支援してまいります。

記

### 【2021年度助成先】

(五十音順)

ほっく一コース助成先団体(7団体)			
オホーツク魚類研究会	環境市民団体 エコ・ネットワーク	特定非営利活動法人近自然 森づくり協会北海道支部	釧路自然保護協会
沼辺の会	北海道希少生物調査会	山のトイレを考える会	

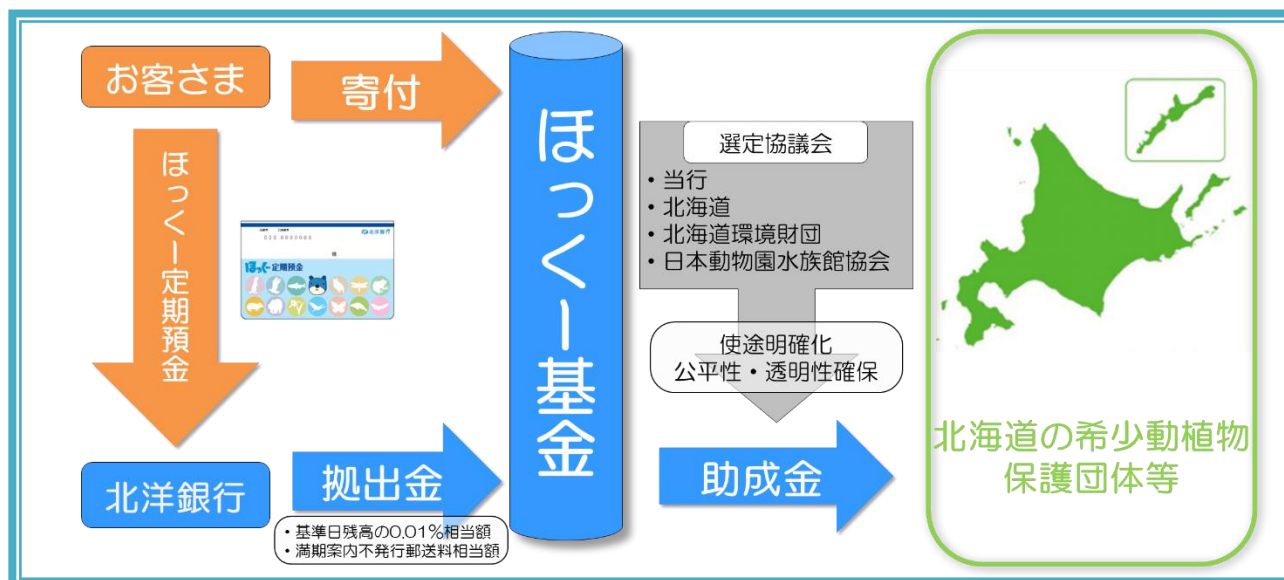
  

トムコース助成先団体(9団体)			
旭山自然調査隊	アライグマ捕獲 深川市民の会	いしかり森林ボランティア 「クマゲラ」	特定非営利活動法人有珠山 周辺地域ジオパーク友の会
遠軽町ウチダガサリガニ防除 ボランティアグループ ジオ・サリ・クラブ	特定非営利活動法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	駒生川に魚道をつくる会	一般社団法人 北海道自然保護協会
北海道生物教育会			

以上

## 1. 制度の概要

### (1)「ほっくー基金北海道生物多様性保全助成制度」のしくみ図



### (2) ほっくー定期預金

ほっくー基金の主な原資として「ほっくー定期預金」を取り扱いしており、お客さまからお預け入れいただいた「ほっくー定期預金」残高の 0.01%相当額と、満期案内不発行による郵送料相当額を、当行が基金に拠出しています。この仕組みにより、お客さまは間接的にほっくー基金へ参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

## 2. 助成先の詳細

### ◆「ほっくーコース(助成金額上限 100 万円)」助成先

(五十音順)

団体名	団体所在地	これまでの主な活動内容	助成金による活動	助成金額
オホーツク魚類研究会	網走郡美幌町	オホーツク地域の魚類の生息状況および生態に関する調査研究を行い、魚類の保全・保護管理や普及啓蒙活動に役立っている。	生物多様性に配慮した農業用施設用手作り魚道	100万円
環境市民団体エコ・ネットワーク	札幌市	森林の手入れや森林資源の有効活用に取り組む環境ボランティアや、海外環境研修ツアー(英国・デンマーク)、親子エコキャンプ等を実施している。	ヒグマの市街地侵入防止のための放棄果樹伐採等のボランティア	80万円
特定非営利活動法人近自然森づくり協会北海道支部	札幌市	シマフクロウの棲める河畔林の再生(浜中町)や、イオルの森の再生(平取町)のほか、天売島の水源林整備と木材の有効利用による地域活性化等に取り組む。	シードリングバンク(実生銀行)の設立	100万円
釧路自然保護協会	釧路市	釧路川水系支川において魚類の産卵遡上環境を改善するため、落差工など魚類の遡上障がいとなっている構造物に魚道を整備する活動を実施。	釧路湿原自然再生事業、釧路川支川魚類生息環境の再生事業	100万円
沼辺の会	苫小牧市	「苫小牧地区の自然環境」をテーマの中心とし、地域を拠点に活動する専門家を講師やリーダーとして招き、学習会やさんぽ会を行う。	北海道生物多様性の宝庫「いきもの交差点とまこまい」を次世代へ手渡すために	100万円
北海道希少生物調査会	札幌市	生物調査団体として、希少爬虫類シロマダラ・石狩平野のオジロワシ・札幌圏のコウモリ類の現況把握調査等を実施。	幻のヘビ「シロマダラ」を表舞台に！種の存続を助けるための活動！	100万円
山のトイレを考える会	札幌市	排泄物による北海道の山岳環境問題改善を図り、山岳トイレの改善活動のほか、山岳トイレがない地域では登山者の携帯トイレの普及活動等に取り組む。	大雪山国立公園における生物多様性保全のための携帯トイレ普及活動	30万円

■「トムコース(助成金額固定 10 万円)」助成先

(五十音順)

団体名	団体所在地	これまでの主な活動内容	助成金による活動	助成金額
旭山自然調査隊	札幌市	月に1回の自然観察会や水辺の環境を守る活動、在来の植樹を守る活動、近隣小学校への環境教育支援など様々な活動に取り組んでいる。	ぼくたちが守るもの	各団体 10万円
アライグマ捕獲深川市民の会	深川市	深川市で増加するアライグマの捕獲活動のほか、音江地区全域での生息状態の調査等を行う。関係団体と連携しながら駆除対策の強化に寄与している。	市民による特定外来生物アライグマの駆除	
いしかり森林ボランティア「クマゲラ」	石狩市	私有林等への植樹・保全等維持管理のほか、市民に植樹用種子を配り、幼木まで育ててもらったものを植樹する「キノシュ木育里親運動」などを展開している。	森林保全再生活動	
特定非営利活動法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	有珠郡壮瞥町	洞爺湖有珠山ジオパークにて自然観察会や火山防災啓発学習登山会、オロフレ山の高山植物保護などの環境保全活動に取り組んでいる。	アメリカオニアザミ駆除・啓発活動	
遠軽町ウチダザリガニ防除ボランティアグループ ジオ・ザリ・クラブ	紋別郡遠軽町	ウチダザリガニの防除活動を通じて豊かな生態系の維持と外来生物問題に対する環境保全意識の普及啓発を図り、遠軽町の自然環境保全に寄与している。	ウチダザリガニ防除活動及び特定外来種駆除への普及啓発活動	
特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト	厚岸郡浜中町	霧多布湿原センターの指定管理者。環境教育の一環として、森・湿原・海の生態系や人との繋がり等を体感し学ぶための展示ホールを運営している。	大人も子どもも湿原遊び～遊びを通して体感する霧多布の漁業～	
駒生川に魚道をつくる会	網走郡美幌町	落差工でサケやマスが遡上できなくなった駒生川で、魚が上流に遡上できるよう手作り魚道を作るほか、魚道の修理や、魚の遡上の確認等を実施している。	オジロワシに対するプラスチックごみの影響調査	
一般社団法人北海道自然保護協会	札幌市	自然環境講演会など市民を対象としたセミナーを開催するほか、円山公園で市民ボランティアを募り、ゴボウなどの外来植物の除去活動を行っている。	市民ボランティアと行う円山公園での外来植物除去活動	
北海道生物教育会	札幌市	小中高の教員を中心に、北海道における生物教育の研究と実践を行う研究団体。野外観察や実験のほか、教材の開発等を通じて授業に役立つ活動を実施。	カムバック エゾサンショウウオ(在来種)	

以上